

関西圏国家戦略特別区域会議(第18回)
～大阪府提出資料～

大阪府

2018年12月7日

国家戦略特別区域小規模保育事業

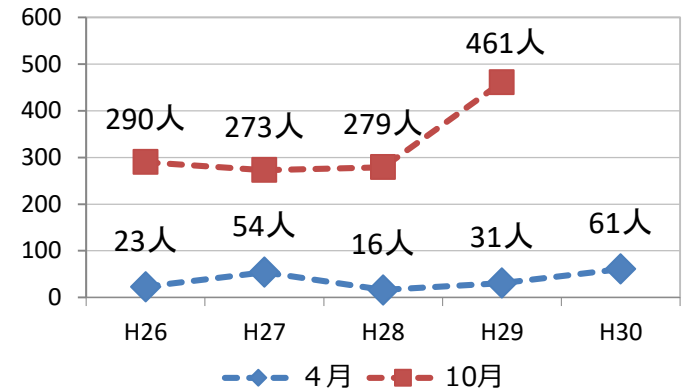
大阪府では都市部を中心に待機児童が発生

《待機児童数》 府内：677人 **堺市：61人** ※H30.4月時点

○堺市ではこれまで、比較的整備のしやすい小規模保育事業を中心に、待機児童の多い低年齢児（0～2歳）の受入枠を拡大してきたが、依然として低年齢児を中心に待機児童が生じており、今後も小規模保育事業の整備を進める予定。

○現在、2歳児の入所児童数、定員数は、ともに3歳児を上回っており、卒園後の受け皿となる連携施設の確保ができない施設も存在していることから、**3歳児以上の受入枠についても確保が必要。**

堺市 待機児童数の推移



3歳児以上の定員を持つ保育所や認定こども園整備の課題：

「保育ニーズの高い地域にまとまった土地がない」「整備期間が長く、即効性がない」 など

特区小規模保育事業

3歳児以上の受入が可能となる特区小規模保育事業を実施し、堺市で新たに事業者を募集する際に、定員の設定内容について条件付けを行うことで

地域や既存施設の状況に応じた、即効性のある施設整備が可能に！



きめ細かなニーズに速やかに対応し、待機児童解消に寄与！